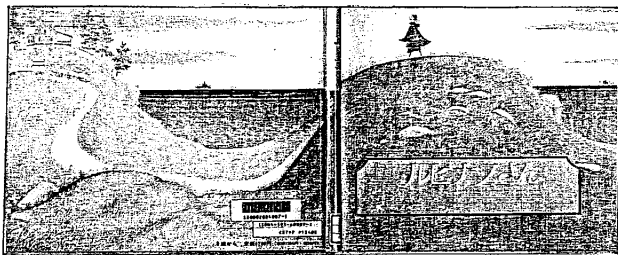


子どもたちといっしょに

「ルピナスさん」

—小さなおばあさんのお話
バーバラ・クーニー さく
かけがわ やすこ やく
(ほるぷ出版)



今はルピナスさんと呼ばれている小さなおばあさんです。アリスと呼ばれていた頃、図書館ではたらきはじめました。その後、ミス・ランフィアスと呼ばれるようになり、南の島にいたり、たかい山にのぼったり、ジャングルにいたり、さばくばくにいたりしました。ラクダからおりるひょうしに、せなかをいためてしまったから、海のみえる家でくらすことにしました。それから……

バーバラ・クーニーの美しい絵と、木村じゅうに咲いたルピナスの花いっぱい場面は、とても心がやすらぎ、幸せな気持ちになります。ご家族でどうぞ。



第20回読書会

ジョン・エイケン作
猪熊葉子 訳
(岩波書店)
「海の王国」

(しろね図書館
しろね図書館友の会 共催)

タポシニエタウエガワリニエタニカエリノシヨウ フルガバジナルノヤ
ヤン・ピアンゴフスキーの挿絵も素敵です。
ロシアや、バルカン諸国の昔話を、エイケンが再話したものです。
作者は、昔話風の短篇を書いている。素晴らしいストーリーテラーです。「すくすく的首飾」が、その短篇集です。ご参加お待ちしております。

6月の行事		ブックバス予定	
1 (土)	おはなし会 3:00	19 (水)	絵本のじかん 3:00~
2 (日)	この子たちの夏練①	20 (木)	絵本のじかん 3:00~
5 (水)	絵本のじかん 3:00~	21 (金)	絵本のじかん 3:00~
6 (木)	おはなし会 3:00~	22 (土)	おはなし会 3:00~
7 (金)	おはなし会 3:00~	23 (日)	この子たちの夏練②
8 (土)	おはなし会 3:00~	26 (水)	絵本のじかん 3:00~
12 (水)	絵本のじかん 3:00~	27 (木)	絵本のじかん 3:00~
13 (木)	絵本のじかん 3:00~	28 (金)	絵本のじかん 3:00~
14 (金)	絵本のじかん 3:00~	29 (土)	おはなし会 3:00~
15 (土)	おはなし会 3:00~	30 (日)	休館日
16 (日)	第20回読書会 13:00~		

今月の展示架は、父の日(6月16日)にちなんで「おとうさん」です。ご利用ください。



しろね図書館だより

No. 25

発行 白根市立図書館
平成14年6月1日

ご利用ありがとうございます。白根市立図書館は、開館2周年を迎え、新館3年目に達しました。これらのご利用に感謝をし、これからも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

5月の

来館者-----13,685人
貸出冊数-----12,994冊
予約件数-----179件
ブックバス利用者-----601人
" 貸出冊数-----1,708冊

リクエスト情報

- 1位・ハリー・ポッターと秘密の部屋(20人)
- 2位・4と千尋の神隠し(17人)
- 3位・ハリー・ポッターと賢者の石(7人)
- 4位・ハリー・ポッターとアズカバンの囚人(3人)

おねがい どなたがわからないあなたへ! 本が泣いています……

- ◇2001年4月号の「母の友」を、ご利用の方へ。巻末附録の林明子の絵シールが失くなっていました。お返し下さい。
- ◇2002年2月号の「主婦の友」の節約特集の4ページから52ページを切り取った方へ。お返し下さい。
- ◇「嫁の友」2002年4月号と5月号の附録の「犬の系統図」を抜き取った方へ。お返し下さい。
- ◇図書館で保存分の「広報しろね」を館内閲覧された方へ。平成13年白根大風合戦の頁を切り取った方へ。お返し下さい。

上のような「おねがい」は、したくありません。が、今回は、書かせていただきました。「図書館の仕事をしていて、このようなことがあると、人間不審になる」と、職員が言うので、私は悲しくなってしまう。何かあっても人間不審にだけは、なってもらいたくありません。この位ならいいだろうと思わずに、マナーを守って、気持ちよく図書館を利用していただきたいと、心からお願ひ申し上げます。
白根市立図書館長 栗村節子

「月神の統べる森で」(Y913タ) ☆☆☆☆

たつみや章 作; 東逸子 絵; 講談社



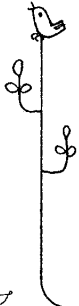
く世界中の民族がそれぞれの神話をもっているように、日本にも日本の神話があります。(中略)...

その昔、人々は生活に重要な役割を果たすものを神として崇め、神の物語を語り継いできました。...

舞台は私達の先祖の歴史である、縄文と弥生という二つの文明が出会った時代・超古代です。...

人間が自然と上手く共生していた縄文時代を舞台にすることで月の神秘性が際立っていると同時に、なぜか懐かしい、あたたかい気持ちにさせてくれる作品です。...

Table listing various books and authors such as 'PHP研究所', '日本放送出版協会', '創美社', etc.



第十九回 読書会

平成十四年五月十九日(日)

「ともしびをかかけて」

ローズマリ・サトクリフ

猪熊 葉子 訳

(岩波書店)

午後一時四十五分、予定時刻を十五分遅れて、白根学習館に四人がそろった。

「ロンさん、どうでした?この本を読んでみて」

「実は、まだ半分くらいしか読んでなくて、終わってないんです。でも、形容詞などのことはが端的で読みやすかったですね。」

ちよっとはかみながら答えたその顔には、少年のような笑顔がかんていた。

忙しい時間をさいてロンは参加してくれていたのだ。「半分ですか。それじゃあ、なんかしゃべるのもったいないですね。そのあとに『えっ、そうなんだ』って思うところがでてくるんですよ。いろんな繋がりが!』と言ったのはジヨー。」

それを聞いて、他の三人は顔を見合わせ「そうそう」というようにうなずいた。

「そんなこと関係ないですよ。あらすじを知ったって、この物語のすべてを知ることにはならないから十分楽しめると思います。」ニックはこのことをきいてドキッとした。

「で、感想なんですけど、日本では文明や文化がまだ未発達時代に、ヨーロッパではもう、ここに出てくるオデッセイの叙事詩のような物語が流布して読まれている。こういう歴史的背景が描写されていて、物語だけでなく歴史についても知る事ができるのですこいと思った。過去の出来事を物語性をもたせて描かれてるのでこういうのはおもしろいですね。」

「私もよみやすかったです。」エリは「わたしもそう思う」というような感じだった。

「いままで、日本の時代ものは読んでいたことはあるんですけど、日本のものは、どうも歴史の事実には忠実すぎますよね。でも、これは、事実があつて、そこから想像をふくらませて描いてあつて、おもしろかったです。」

それから、経験、知識とも豊富なジヨウが語り始めた。「サトクリフという作者は、教科書なんかには1頁くらいしか記されていない歴史でもそこからふくらませて、物語のおもしろさを読者にわからせてくれるんですね。『子どもの本』っていうのはこの作品に限らず、主人公が不幸になったり、死んだりする終わり方はないんです。希望を持たせて終わらせているんです。」

そして、ロンがすばらしいことを言った。「そうですね、子どもの豊かにもつながるんだから、こういうものを、子どもの頃から読まなくちゃだめだ!」

ロンは現代の若者の行動にも目を向けて、読書会の枠を超えて意見した。この力強い言葉に他の三人は息をのんでしまっていた。

このあと、一通り意見を交わし合い、「コーヒーを飲みながら楽しいトークで時間が過ぎていった。

あとがき 普段の生活の中で本を読んでも、人に薦めることはするかもしれないが、他人の意見や感想を聞くことなんてないと思う。今回のように現代の問題にまで発展したというのは、とてもおもしろいことだ。難しいことは全然考えていない、ただ自分が思ったことをそれぞれ語っているだけ。

今月もおもしろい物語です。ぜひご参加ください。